

## はじめに

晴れた日、畑の向こうから子どもたちの歓声、どよめきが聞こえた。当地に越してきたばかりのころ、この空気が心地よかった。大道幼稚園がなくなってもう12年。

わずか10年ほどのあいだでも町内はずいぶん変わった。車のキズを直してもらった三州自動車、目当ての商品を探すのに苦労した100円ローソン、1回しか行かなかった横浜ラーメン、とうとう行きそびれたシダックス。これは何の建物だろうといぶかった消防署裏の古ぼけた待機寮、孫のお守で連れられて行つたくぬぎ児童館、そしてなんで大道という名なんだろうと思った幼稚園。

「前沢四丁目」と自治会ができて50年。建物や環境だけではない。人もずいぶんかわった。当時の若者たちはおじいちゃん、おばあちゃんになった。いろんな出来事があった・・・。

3月22日、50年前の日曜日、東京の天気・曇り。この日、前沢四丁目自治会は産声を上げた。畑と雑木林だったこの地に家々が建ち始めたころだ。富士山がよく見えたという・・・。少しでも良いまちにしたいという住民の思いが自治会の結成へとつながった。あれから50年。

この街で遊んだこと、ケンカしたこと

この街で楽しかったこと、悲しかったこと

この街で出会い、別れた人

新聞にも載らない、テレビにも映らない、この世界の片隅に、1,700人の思い出と思いがある。

この50周年記念誌は、主として自治会サイドから編集している。しかし、「あんなことこんなこと」をとおして、この街への共通の思いと、人々との結びつきを強めていただければ幸いである。

2020年3月 前沢四丁目自治会 会長 広瀬新平